

『令和7年度版 病害虫総合防除計画、施肥・雑草防除のてびき(麦類・野菜・花き・飼料作物)』の改正点一覧

令和7年8月

作物名	改正後 ページ	分類	項目	改 正 点	改正理由
麦類	22	総合防除計画	2.赤かび病 2)防除のねらい (1)小麦	文章修正(下線部を追加、取り消し線部を削除) 更に、開花10～20日後頃に2回目の散布を行うと DON 低減効果が高まる。開花約10日後の散布は発病 抑制、開花約20日後の散布はDON低減効果が高い。な お、発病の…	文章の簡略化
麦	30	総合防除計画	シロトビムシ	薬剤防除に以下の防除を追加する。 (1)過去、シロトビムシ類による被害が発生した圃場では、クルーザーF30等の効果の高い種子処理剤を使用する。	防除対策確立のため
キュウリ	79	総合防除計画	コナジラミ類	マイコタール追加	展示圃試験の成績が良好のため
イチゴ	87	総合防除計画	うどんこ病	文章追加 (5)本病は夜冷育苗および株冷育苗を行うことで、発病が助長されるため、夜冷・株冷処理の前には薬剤散布を行い、感染を抑制する。	防除対策確立のため
いちご	88	総合防除計画	うどんこ病	オルフィンフロアブル削除	登録失効のため
いちご	99	総合防除計画	ハダニ類	ピタイチ追加	展示圃試験の成績が良好のため
トマト	111	総合防除計画	灰色かび病	インプレッション水和剤→インプレッションクリア	商品名変更のため
トマト	111	総合防除計画	灰色かび病	カナメフロアブル追加	展示圃試験の成績が良好のため
トマト	112	総合防除計画	トマト黄化葉巻ウイルス(TYLCV)	文章修正(下線部を追加、取り消し線部を削除) 2)防除のねらい (3)発病株は早急に抜き取り、他株への伝染を防ぐ。早期発見・早期抜き取りをする。	他記載との統一のため
トマト	112	総合防除計画	トマト黄化葉巻ウイルス(TYLCV)	文章修正(下線部を追加) 3)防除法 ・耕種的防除 (3)発病株は他株への伝染源となるので、見つけ次第抜き取り、圃場外に持ち出して土中に埋没する等して適切に処分する。	防除対策の強化のため
トマト	113	総合防除計画	キュウリモザイクウイルス(CMV)	文章修正(下線部を追加) 3)防除法 (1)アブラムシの防除を行う。詳しくは「トマト・アブラムシ類」の項参照。	防除対策の強化のため
ナス	125	総合防除計画	灰色かび病	ミギフ10フロアブル追加	展示圃試験の成績が良好のため
ナス	136	総合防除計画	アブラムシ類	バリマークSC追加	展示圃試験の成績が良好のため
たまねぎ	143	総合防除計画	べと病	ゾーバックエンテクタSE追加 備考欄に「耐性菌の発達を防ぐため、二次感染初期に使用する」	展示圃試験の成績が良好のため
たまねぎ	143	総合防除計画	べと病	メジャーフロアブル削除	一部の試験で効果が低いため
タマネギ	144	総合防除計画	灰色かび病	オルフィンフロアブル削除	登録失効のため
タマネギ	148	総合防除計画	軟腐病	バイオキーパー水和剤削除	登録失効のため
たまねぎ	148	総合防除計画	軟腐病	クミガードSC追加	展示圃試験の成績が良好のため
アブラナ科	162	総合防除計画	根こぶ病	フィールドキーパー水和剤削除	登録失効のため
ブロッコリー	165	総合防除計画	花蕾腐敗病	ベジキーパー水和剤削除	登録失効のため
アブラナ科	169	総合防除計画	アオムシ	オルトラン粒剤のブロッコリーに○を追加	登録拡大のため
キャベツ	169	総合防除計画	アオムシ	フィールドマストフロアブル追加	展示圃試験の成績が良好のため
ブロッコリー	169	総合防除計画	アオムシ	フィールドマストフロアブル追加	展示圃試験の成績が良好のため
キャベツ	172	総合防除計画	コナガ	フィールドマストフロアブル追加	展示圃試験の成績が良好のため
ブロッコリー	172	総合防除計画	コナガ	フィールドマストフロアブル追加	展示圃試験の成績が良好のため
レタス	178	総合防除計画	軟腐病	バイオキーパー水和剤削除	登録失効のため
レタス	179	総合防除計画	べと病	ザンプロDMフロアブルの非結球レタスに○を追加	登録拡大のため
アスパラガス	197	総合防除計画	オカダンゴムシ	項目の追加	防除対策確立のため
ハウレンソウ	209	総合防除計画	ケナガコナガニ	リーフガード顆粒水和剤追加	展示圃試験の成績が良好のため
カンショ	215	総合防除計画	ハリガネムシ類	ダーズバン粒剤登録失効に伴い項目削除	登録失効のため
パレイショ	220	総合防除計画	アブラムシ類	ジメトエート乳剤削除	登録失効のため
キク	261	総合防除計画	ハダニ類	フォーモン追加	展示圃成績良好のため
ホオズキ	291	総合防除計画	アザミウマ類	ファインセーブフロアブル追加	展示圃成績良好のため
飼料作物	317	総合防除計画	—	文章修正(取り消し線部を削除) なお、平成20年にメタルアルデヒド剤によるスタミリンゴガイの防除～WCS用イネには使用できないことに注意する。	使用可能となったため
飼料作物	319	総合防除計画	—	2. 指導基準を定めた農薬及びそれらを使用した飼料の取扱いについて (1)フサライドについて見え消し。 ※改正根拠の出典を追記	使用可能となったため
飼料作物	320	総合防除計画	—	出典の修正	情報更新
省力防除	387	総合防除計画	—	シーマージェット、フェニックスジェット削除	登録失効のため
省力防除	387	総合防除計画	—	モレスタン水和剤、バラに○を追加	登録拡大のため
麦類	392	総合防除計画	(17)防除関係参考 Ⅰ 麦類 1. ムギ類の品種耐病性	タイトルの変更	1)～3)と記載を統一
麦類	392	総合防除計画	1)大麦品種のオオムギ縞萎縮病抵抗性	「ニシノホシ」「煌二条」「イチバンボシ」を削除	奨励品種から廃止されており、R7年産の作付実績も少ないため。

作物名	改正後 ページ	分類	項目	改 正 点	改正理由
麦類	392	総合防除計画	2)小麦品種のコムギ縞萎縮病耐性	ウイルスの系統ごとに整理	詳細な情報に変更
麦類	392	総合防除計画	3)ムギ類品種の赤かび病耐性	項目の追加	近年、赤かび病に対する関心が高まっているため
各品目	―	総合防除計画	ハスモンヨトウ	ジアミド系に「県内のダイズ個体群で感受性低下個体群が確認されている」と挿入する。	検定試験において感受性低下が認められたため。
各品目	―	総合防除計画	―	備考欄にベノミル含有剤(ベンレート水和剤)およびチオファネートメチル含有剤(トップジンM水和剤)使用時の注意事項を追記	ベノミル含有剤およびチオファネートメチル含有剤への注意事項が追加されたため
各品目	―	総合防除計画	―	プリロツソ粒剤→プリロツソ粒剤オメガ	剤形変更のため
各品目	―	総合防除計画	―	品目指定で登録が行われていない剤については、備考欄に登録内容を記載 (例)野菜類で登録	登録内容を明確にするため
麦類	7	施肥・雑草防除のてびき	C. 普通大粒大麦 1. 耕起畦立栽培型の施肥 1)地域別施肥量	表 山麓「煌二条」を削除	R7年産以降、県内での作付けがないため
麦類	52	施肥・雑草防除のてびき	1. 稲わら・麦わらの連年施用が麦類の収量に及ぼす影響	グラフの更新	情報更新
麦類	52-53	施肥・雑草防除のてびき	2. 小麦の穂揃い期追肥に関する試験成績	・項目名の変更と説明の追記 ・図3、表1の削除	情報更新
麦類	54-55	施肥・雑草防除のてびき	4・5ミナミノカオリ、はる風ふわりの施肥に関する試験成績	説明の追記	データ見直しのため
麦類	56	施肥・雑草防除のてびき	6. サチホゴールデンの施肥に関する試験成績	・説明の追記 ・表1の品質・倒伏程度の説明書きの追記 ・現在、穂肥量の指標としている降水量と穂肥量の表の追加 ・表2、3の削除	データ見直しのため
その他	113	施肥・雑草防除のてびき	(新規)Ⅲ-6	「有機質資材の肥効見える化アプリ」のリンク先等の掲載	有機質資材からの窒素、リン酸、加里の供給量を試算し、これらを考慮した施肥設計を提案。有機質資材の利用促進及び肥料コスト削減の推進のため
麦類	115	施肥・雑草防除のてびき	麦類の雑草防除	ハーモニー75DF水和剤→ハーモニー75DF	商品名変更のため
麦類	116	施肥・雑草防除のてびき	(1) 麦類播種前および播種後出芽前の雑草防除	項目名の変更 麦類播種前→麦類播種前および播種後出芽前	登録に合わせて修正
麦類	116	施肥・雑草防除のてびき	(2)麦類播種後の雑草防除(土壌処理)	・サタンバアロ粒剤の使用上の注意に、生育初期(小麦・大麦の4葉期まで、スズメノテッポウ1.5葉期まで)の記述を追記 ・トレファノサイド剤の生育期処理(粒剤:雑草発生前、乳剤:雑草発生始期まで)を追加 ・ゴーゴーサン乳剤の大麦生育期処理(雑草発生前)を追加	登録に合わせて追記
麦類	118	施肥・雑草防除のてびき	3. 麦わら処理方法が雑草の発生に及ぼす影響	総合防除計画から雑草防除の手引きに移動	内容に
麦類	―	施肥・雑草防除のてびき	4. 試験圃場におけるタデ科雑草の残草量	項目の削除	現在製造されていない薬剤の試験結果であるため
花き	124	施肥・雑草防除のてびき	3. 花きの雑草防除	ダイヤメート水溶剤削除	登録失効のため
花き	130	施肥・雑草防除のてびき	植物生育調節剤(花き)	ゆり→てっぼうゆり	用語修正